



INGING MOTORSPORT OFFICIAL WEBSITE OF PAPER [http://www.inging.co.jp]

# INGING NEWS PAPER 2010 VOL.06

**TAKE  
FREE**  
無料

### Topics

**CONDITION THAT CHANGES GREATLY**  
大きく変わるコンディションで、井口はどう戦うのか？

**DIFFERENT SETUP,  
NOW TO THE COURSE!!**

### Race Report

**Round.5 SPORTS LAND SUGO 9/26 Final**  
決勝 2010年9月26日 スポーツランドSUGO

ポイント獲得こそ果たせなかったが、  
苦しいレースを乗り切りトップ10でのFinish!!

Round.6 AUTO POLIS 10/16 - 10/17

Support by cyber net

INGING NEWS PAPER VOL.6 [インギング ニュースペーパー]

2010年10月発行 第6号

発行：株式会社インギング 〒717-0013 東京都葛飾区新小岩3-25-7 CNLビル



## Topics

CONDITION THAT CHANGES GREATLY  
大きく変わるコンディションで、井口はどう戦うのか?

# DIFFERENT SETUP, NOW TO THE COURSE!!

前日から一転して爽やかな青空の広がった菅生。  
異なるセットアップを施したマシンで、コースに向かう。

ほぼ1日中曇天下での走行となった前日の予選では、無念の15番手という結果に終わったDELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGINGと井口卓人。前日は異なるセットアップを施したマシンで、セッション開始と同時にコースへ飛び出し、順調にペースを上げていく井口。しかし、その矢先、SPコーナーひとつ目で石浦玄明がコースアウトしクラッシュしたために、レッドフラッグ。残り25分で仕切り直しとなったフリー走行に、再び井口が飛び出していく。残り10分を切り1分10秒870とハイペースで周回。翌日は1分10秒200とすると、スローカーに引っぱかりペースダウン。「まだ納得するセットアップには届いていません……」と表情を曇らせた井口だが、午後の決勝に期待を抱かせる走行となった。



AND, THE FIGHT  
CONTINUES.

## RACE COMMENT

Round.5 SPORTS LAND SUGO 9/26 Final

TEAM DELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING

スーパーバイザー: 立川 祐輔

「松田選手の前に出られる可能性があったので2輪交換という作戦を立てたのですが、ピットワークでミスしてしまったのが残念でした。後半の状況を見ると、ポイント圏内の8位にも届いたと思います。チームも気を引き締めて同じミスが起きないようにやってみようと思います。井口に関しては、前々リズミに走れるポジションを獲得したのですが決まって直前のドライブに出てきてしまったのは取柄です。しかし、最終コーナーの遅さが最終の中で最後まで響いてしまったように思います。その辺りは週末を通じてセットアップを井口に調整してほしいですね。」

29 井口 卓人

「今回は何かやる気だったので、うまくアサインメントを調整してポジションを上げることができました。ただ、その後はなかなかペースが上がらず、前にも触れてしまいました。タイヤを2輪交換する作戦は、ミスもあってうまく機能しなかったものの、後半は10秒台の真ん中から前半というペースで周回できていたので、苦しみながらも良かったレースだったと思います。今週はピットワークに苦しんでポジションを落としました。やはり先週末の走行で食われてしまった部分があるので、次のオートボリスは、その辺りも戻りたいと思います。」

## Race Report

Round.5 SPORTS LAND SUGO 9/26 Final  
決勝 2010年9月26日 スポーツランドSUGO

ポイント獲得こそ果たせなかったが、  
苦しいレースを乗り切りトップ10でのFinish!!

Takuto Iguchi

29

<決勝レース/62周> 天候:晴 | コース状況:ドライ

天候が回復したことで、気温21℃、路面温度33℃と前日から大きくコンディションが変わると同時に好スタートを決め、14番手で1コーナーへ。

その後、上位陣の攻防の中で接触があり、それを引き金に多重クラッシュが発生。数台のマシンがダメージやコースアウトを喫する中、井口は気に9番手に浮上を果たすも、コースにはセーフティカーが導入される。レースは4周目にリスタート。井口は松田に次ぐ9番手でこの周を駆け抜け、5周目終了時にはコマ1秒差で平手真平にスリッパに入ると、最終の1コーナーでポジションを奪われてしまう。最終コーナーで1秒差をひとつの井口は、苦しい展開を強いられることになる。

9周目の1コーナーでコツコツリーに先行を許し、11周目あたりからタイムを上げ、ベストラップを更新しながら逃げようとする井口。14周目には塚越広大が駆動系のトラブルでスローダウンしたことから再びトップ10に返り咲いた井口だったが、15周目の1コーナーで再びポジションは11番手に、それでも懸命にマシンを揺る井口は、自己ベストを更新しながら力走。ライブリセのピットインを後目に、必死にポジションを上げ、井口は5番手に浮上した36周目にピットへと進出する。

ここで、先にタイヤ交換を終えている松田を捕らえるため、タイヤのみでの2輪交換という作戦を選択。しかし、タイヤの交換作業がスムーズに行かずタイムをロスし、12周目のポジションを落とす。12周目以降は、11周目のレースを思い出して、タイヤ交換後はバランスが狂ってしまったことが原因だったが、取戻したあたりからバランスが狂いながらも、アクティブに再び1分10秒台へ。

13周目で40周目あたりから1分10秒台の好タイムを連発した井口は、45周目には1分10秒675とベストラップを更新すると、続く46周目には1分10秒198と、ポジションこそ12番手ながら上位陣と比べたところから、トップ10を叩き出す。

レースは最終的に、11周目以降にピットインしたことで11番手にポジションを上げた井口は、諦めることなく9位を争う松田と井口を追いすが、その差を詰め切れず、ついにレースはファイナルラップへ。

このまま11位でのフィニッシュかと思われたが、トップに立っていたオリベiraがスアのためストップする混乱があり、井口もスローダウンしたオリベiraのマシンの横をすり抜け、10番手に。井口は10分でチェッカーを受け、ポイント獲得こそ果たせなかったが、苦しいレースを乗り切りトップ10でのフィニッシュを飾ることとなった。